



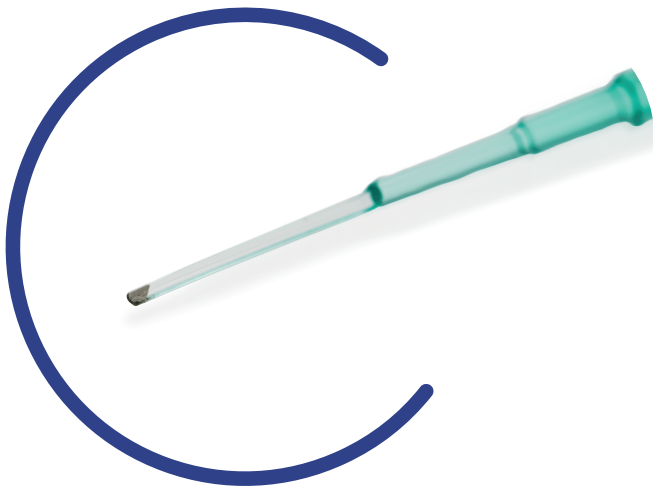
VitriFit™

Vitrification System

ヘキサゴナルシェイプが
最大50%のスペースを節約



- 限られたスペースに従来よりも多くの本数を保管可能にします。
- ラウンドした先端形状により最少量の凍結液で胚が凍結可能です。また、キャップを閉める際の胚への接触を防ぎます。
- キャップはロック機能を持ち、不意にキャップが外れるのを防ぎます。



品質管理項目

- エンドトキシントテスト済み
- マウスエンブリオアッセイテスト済み
- ガンマ線滅菌済み

カタログ番号

製品名

包装

42782001

VitriFit™ (透明)



42792001

VitriFit™ (青)



42802001

VitriFit™ (緑)



42812001

VitriFit™ (黄)



20本(個包装)/箱

*本製品は薬機法の定めるところの「医薬品」「医薬部外品」ではありません。また、ヒト・動物の診断あるいは治療用として用いるものではありません。

使用方法

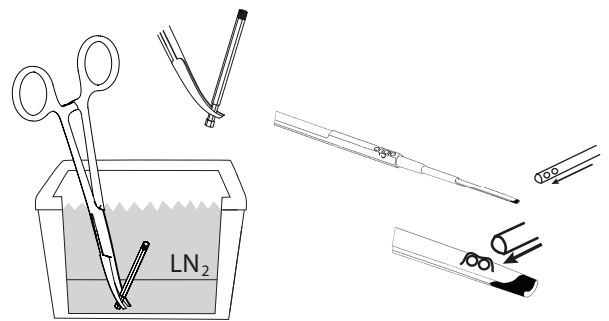
凍結

1. ガラス化凍結液のプロトコールに従い、保存する検体を準備してください。
2. VitriFit™ を包装袋を開け、キャップを取り外して、キャップを液体窒素中に沈めてください【図1】。
3. 胚操作ピペットを用いて、ごく少量のガラス化液と共に、チップ先端に検体を載せてください【図2】。

*検体はチップ先端の黒い部分より内側に載せてください。
黒い部分に載せると顕微鏡下での胚の観察が困難になります。

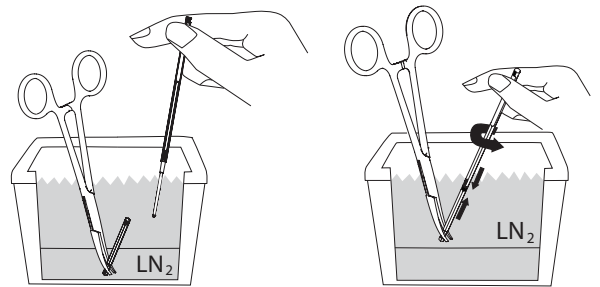
4. VitriFit™ を液体窒素中に入れる前に、必要に応じてチップの先端に載せたガラス化液の液量を調節してください。

5. 実体顕微鏡下で検体が載っていることを確認し、液体窒素中に素早く入れます。
6. 撮子で液体窒素中に沈めていたキャップをつまみ、VitriFit™ の先端からキャップを慎重にかぶせます【図3】。
7. キャップを完全にかぶせた後、ゆっくりとVitriFit™ をねじりながら締めてください【図4】。
8. 検体を保存する液体窒素タンクにVitriFit™ を保管します。



【図1】

【図2】

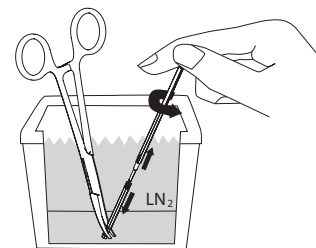


【図3】

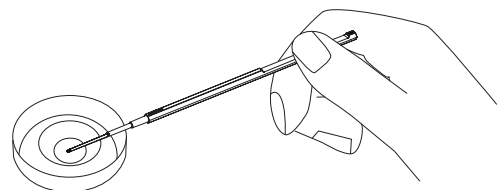
【図4】

融解

1. ガラス化融解液のプロトコールに従い、融解する検体を準備してください。
2. 検体を保管している液体窒素タンクからVitriFit™ を取り出し、液体窒素を満たした容器に移してください。
3. 撮子でキャップを押さえたまま、VitriFit™ をゆっくりとねじり、キャップを取り外します【図5】。
4. VitriFit™ のチップ先端を素早く融解液に入れ、実体顕微鏡下で確認をしながら、VitriFit™ をゆっくりと動かし、保存してある検体を融解してください【図6】。
5. ガラス化融解液のプロトコールに従い、胚の融解操作を行ってください。



【図5】



【図6】